

びとう和広後援会ニュース

2008.11.07

第 20 号

発行責任者
長谷川満敏



ご支援、ありがとうございます。

後援会の皆様には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。お陰をもちまして2期目の挑戦を、2,340票いただき、第3位で勝利させていただきました。皆様お一人おひとりのご支援の賜物と、心より感謝いたします。

今回の市議会議員選挙は、議員定数は従来どおりの24名のままに対し、30名が立候補する、厳しい選挙となりました。結局、8期32年の超ベテラン4名はじめ6名の勇退に加え、4期のベテラン現職が涙を呑み、大きく世代交代した感じです。しかし、過去最低の投票率53.32%を考えると、議会に対する信頼や意識の低下を否定できません。私は、頂いた一票一票の重みを感じながら、積極的な情報発信と皆様の声を市政に届けるための対話を続けて参る所存です。

選挙後の初議会が10/23に開催され、私は、議会運営委員会の副委員長、都市環境常任委員会の副委員長、そして環境審議会委員となりました。いよいよ議会の中核を担っていく、そんな責任の重さを感じながら、日々の活動を進めてまいります。今後とも、よろしく願いいたします。

三田市議会選挙の最中に、またも総理大臣が替わり麻生内閣が発足し、解散をちらつかせた開き直り国政が進められています。いつ衆議院選挙があっても対応できるよう、民主党議員としても頑張ります。

国際的な金融不安の中、アメリカでは初の黒人大統領が誕生し、世界的に、変化・変革のときを迎えているとともに、大切な舵取り選択のときを迎えています。日本政府もしっかりとした対応が必要です。

三田市は、市議会議員の改選をみて、9月議会が8/20～9/12に開催され、その中で昨年度の決算審議も行なわれました。また、三田市政50周年にあわせ、関連組織の50周年記念行事も多く開催されています。歴史を振り返るとともに正すべきところを正し、これからの将来を見た、生き活きとしたまちづくりを提案してまいります。

後援会活動として、継続的に、直接会員様のお宅を訪問し、私の活動報告と皆様のご意見・ご要望をお聞きして参ります。これからも対話を第一と考え、ご意見・ご要望をお伺いし、市民サービスの一層の向上、安心安全・活気活力のある元気なまちづくりに向け、精一杯頑張ってお参ります。今後とも力強いご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



三田市議会議員 **びとう和広** かずひろ



議会報告(9月定例議会)

■ 9月定例議会 (8/20~9/12 開催)

8/20：定例議会（1日目）市長施政方針・議案説明
8/28-29：定例議会（2、3日目）一般質問
9/12：定例議会（4日目）採決

< 民主党会派の代表質問：（質問者：野上） >

（び：は質問/答弁に対する私の考えです。）

1. 市長答弁と担当部局行動の不整合

問：6月議会の「まずごみ減量化・資源化に取組み、その実施状況の結果を見て、ゴミ袋値上げの是非について議論を深めたい。」との明快な市長答弁に対し、担当部局主催のクリーン部会が審議打ち切りとなった。値上げが前提だったと見るが、どうか？

答：ゴミ袋値上げに対し、ゴミ減量化推進を最優先に、との市長方針を受けて、各委員に経過説明を加えただけで、事務処理規則に規定された決裁区分に基づいた処理であり、問題はない。

び：クリーン部会ではゴミ減量化のため現状分析し、その1つの方法としてゴミ処理費を袋代に上乗せするゴミ袋値上げも検討していた。本来のゴミ削減・資源化対策の優先が決定したのだから、部会の実績を活かし、ゴミ削減に努力するための仕組みづくりに発展させるべき、と考える。審議会で、再度検討を始めるため、当局の矛盾を指摘したものです。

2. 街路の除草・剪定費用削減は、問題あり

問：行財政改革で、街路の除草や剪定作業が年3回を2回に削減された。まちの景観を悪くするとともに、茂った雑草のため、むしろ手間もゴミも増え、都市景観の悪化により市のイメージダウンになると思うが、どうか？

答：道路植栽管理に年間1億1500万円、幹線の除草を1回減らすことで1000万円削減できたが、交通に支障を及ぼすところは優先的に対応している。

び：雑草は伸びてから刈り取ると、根が張り、次年度負担が大きくなる。地域との協働により、草抜きが理想と考えます。分離帯や高所は交通だけでなく作業の安全も観点に入れ、一層の効率化を訴えます。

3. 公共交通の充実に向けて

問：コミュニティバスの導入を検討しているが、市独自の事業では負担が大きい。現在の神姫バスを中心とした体制をもっと支援し、安価で拠点間を結ぶ路線を検討すべき、と考えるがどうか。

答：高齢化とともに在来バスでは対応できない地域の高齢者の移動手段や外出支援の観点から、路線や利用者負担を含め、住民参加が重要と考え、住民参画の市内バス交通を含めた、コミュニティバス導入を検討中。バス離れで利用者が減り、事業経営が厳しいので、路線見直しや低運賃化は市の補助が不可欠であり、環境の観点からも公共交通機関のあり方を考え、国・県・事業者と連携しながら取り組んでいく。

び：私は、コミュニティバスの維持管理費はとても負担が大きいので、公共交通機関/タクシー/介護事業/ボランティアの住み分けを整理し、もっとボランティア活動を取り込んで支援できる、市全体の取組みが大切だと考えています。

議会報告(平成19年度決算)

例年は11月に実施される昨年度の決算審査ですが、今年は総務省に対する財政状況の報告もあり、9月議会の中で審査されました。

歳入総額：330億円、歳出総額：326億円
經常収支比率：98.3%（対前年+3.4%）

1. 市長選挙による骨格予算の結果

平成19年度は7月に市長選挙があり、早々に前岡田市長が不出馬を表明されたため、予算はほとんどの新規事業を留保し、最低限度の予算でした。（このような予算を骨格予算といいます。）8月に竹内新市長が着任後、新施策が追加予算として提案されたわけですが、市民病院の強化と駅前再開発の経営見直しや行財政改革としての支出抑制政策と、大きな費用発生はなく、過去5年でも最少の決算となりました。（下図参照）

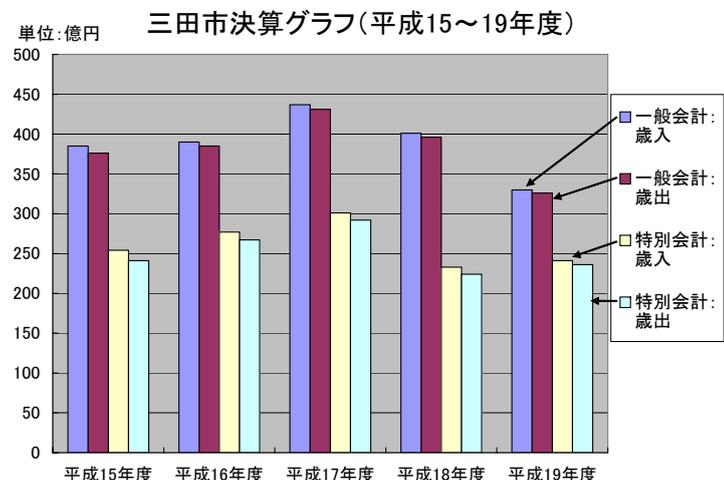
私は単に削減でなく、事業の目的・効果・コストの明確化と目標・成果をしっかりと検証できる議会を訴え、その実現にあたっての効果的・効率的活動を求めています。19年度は電子入札も始まり、住民票など自動交付機の充実も進められ、その成果（たとえば、入札率（実落札額/市予定額）を77%まで削減し、昨年度比で4,770万円の支出を削減できたなど）の確認を行ないました。

2. 特別会計

国民健康保険・農業共済・下水道・北摂三田ニュータウン建設・老人保健医療・三田駅前地区市街地再開発・公営墓地・駐車場・介護保険と9つの特別会計があり、特に老人保健医療が後期高齢者医療への準備を含め、大きく赤字を計上しています。（単年度△9773万円）今後各会計の問題点と一般会計との連携を見直します。

3. 市民病院企業会計

医師不足・看護師不足により病床48床閉鎖もあり、11.5億円の収支不足なので、病院事業健全化に向け、あり方委員会の検討を急ぎ、運営基盤の確立を進めるべく要望いたしました。



★厳しい財政状況もあり、規模そのものが大きく削減される中市民病院の赤字分は企業会計の積立金で影響が見えていません。近々積立金も底をつきますので、一般会計の負担額が注目点です。

びとう和広の視点

■ <衆議院解散総選挙の先送りと市政のあり方>

総理大臣が2人続けて1年未満で政権を放り出し、自・公政権は、限界にきています。小泉政権で3分の2を占めた衆議院による強行採決の力で通った問題だらけの法案は、100年大丈夫といいながら切り替え直後から見直しが必要な年金法・多くの犠牲者を出した障害者自立支援法・廃止同様の後期高齢者医療制度・日本企業に外国資本が入り易くなり優良企業を不安に陥れた合併法・などなど、国民に大きな負担と政治不信を作ってしまった。

今、世界的な金融不安のなか、大きな転換期を迎えています。年内の衆議院解散総選挙は先送りになりましたが、経済対策は付け焼刃ではできないと思います。しっかりと議論を尽くした対策を打たねば、結局将来へのツケをまわすだけです。定額補助金や助成金は人気取りだけで、元来の政策ではありません。もっと将来を見たしっかりと政治が求められていると考えています。

それは市政でも同じです。その年だけでなく、長期的な視点も失うことなく、計画を築いていくべきです。だからこそ、事業ごとの目的・コスト・効果をしっかりと議論できる予算や決算の審査を早期に見直すべき、と訴えています。その上で、集中と選択で思い切った改革も必要です。私は、これからも、議員定数の削減をはじめ、議会経費の見直し・三田市政の見直しを議会改革と一緒に進めてまいります。

■ <市議会議員のあり方と議員の情報発信>

私は、再三「議員定数削減について」訴えてきました。それは、今の財政を考えると、議員として議会経費を削減する最善策だと考えるからです。

昨年12月市民約5600人署名にて議員定数削減の要望が出されました。議会として議員定数等検討委員会を立上げ、半年近く検討しましたが、議員定数削減と議員報酬などの削減で意見が分かれ、全く平行線のまま結論が出ずに終結しました。そこで、6月議会に民主党と公明党の議員で、2名削減の議員提案をしましたが、残念ながら否決されました。しかし、今回の選挙で多くの議員（特に新人議員）は定数削減を訴えていたし、反対討論したベテラン議員は落選しました。もう一度、新しい議員団で検討が必要と考えています。

今回の選挙で、議員の平均年齢が59歳⇒53歳と大きく若返ったのも事実ですが、大切なことは、本当に市民の声が市政に反映できているか、市民感情とか市民の代表とか言いながら、市民の皆様の声をどう受け止めているか、です。

特定地域や団体の声だけで市に求めていく時代ではなく、皆様の税金を活かすために市議会議員はどうあるべきか？問われる時代です。そのためにも、議員の情報発信はととても大切です。もっと議員提案し、競って皆様に市政報告すべきです。その結果として皆様の声をお受けし、再度市政に届けていく。まさに、民間企業のPDCA（プラン⇒ドゥ⇒チェック⇒アクション）のサイクルをまわすべきです。現在は細かい制限がかかっていますが、例えば、市役所や地区センターの受付に各議員の市政報告を置くなど、情報発信を見直すときだと、考えています。

活動報告・予定 ■ 8～11月の活動

■ 委員会

9/_2、9/19：生活文教常任委員会

- ・ 補正予算：学校関連（耐震対策費用）
- ・ ふるさと納税で子育て支援

10/23、10/31：都市環境常任委員会

今回の改選後、都市環境常任委員会の所属となり、副委員長を拝命しました。

- ・ 環境センターの情報公開条例の確認

10/23、10/30：議会運営委員会

議会を運営する際の諸問題を取り扱う決定権のある委員会です。今回、副委員長を拝命しました。

- ・ 12月議会の日程
- ・ 議員公務範囲の確認
(議員公務を本会議・常任委員会・議運(以上従来) + 議員総会・代表者会(以上新規))
- ・ 3月開催の予算委員会の形態
- ・ 議会報告の充実…議会としての情報発信方法
- ・ 議員定数削減…選挙の争点でもあり、検討から
- ・ 政務調査費の取扱い

■ 市・地区行事

8月：・三田まつり・兵庫ヒューマンフェスティバル

9月：・市消防操法大会 ・地区敬老会

・八景中／幼稚園運動会

10月：・三田天満宮例大祭 ・体育協会50周年記念
(元全日本の大林素子バレー教室と式典)

・健康福祉フェア ・市民運動会 など



三田天満神社の例大祭 10/5



元全日本：大林素子によるバレー教室

体育協会50周年行事 10/13

■ 民主党・連合関連行事

11/13：民主党時局講演会（岡田副代表来演）

兵庫5区は梶原やすひろ代表を公認候補として活動

後援会活動報告

日ごろより後援会活動にご理解・ご協力を賜り、感謝しております。

このたびの市議会選挙では、本当にお世話になり、ありがとうございます。出陣式や決起集会や個人演説会へのご参加・ご協力、電話でのご挨拶、選挙カーへのご協力、などなど、言い尽くせません。多くの方々のご支援あつての「三田市議会議員：美藤和広」なのだと、しみじみ感じ、感謝の心で一杯です。これからも、「皆様のご支援に応えられるよう力一杯がんばろう！」と決意を新たにしております。

満員になった個人演説会！



三田小：音楽室にて 9/27

<後援会拡大活動・会員様宅訪問活動>

びとう和広は、会員様のお宅を一軒一軒回らせていただき、皆様の生の声をお聞かせいただきました。また、選挙戦でも、「皆様の思い・願いを市政に届ける！」と訴えてきました。

これからも、びとう和広は、皆様の生の声を大切に、出来るだけお会いして、問題や疑問をお聞きして参ります。皆様から頂いた、一つひとつの案件に真剣に取り組む、その改正や実現に向けて全力で頑張ります。力強いご支援・ご協力のほど、よろしく願いいたします。

びとう和広後援会より

後援会会員の皆様方には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございます。このたびの市議会選挙におきましては、皆様のお陰をもちまして、高位当選を果たすことができました。心より厚く御礼申し上げます。

『びとう和広』は、2期目も、議会においては、三田市の将来を思い、財政はじめ多くの課題に取り組むとともに、皆様のお一人おひとりの声をしっかりと聞きし、しっかりとした政策として対応してまいります。

選挙の結果と報告

<びとう和広：2, 340票・第3位>

今回の市議会議員選挙は、議員定数は従来どおりの24名のままに対し、30名が立候補となりました。特に8期32年の超ベテラン4名はじめ6名が勇退し、現職18名、元職2名、新人10名と、厳しい選挙となりましたが、皆様のご支援により、2340票（前回2415票）を戴き、第3位（前回3位）と立派な成績で2期目挑戦に勝利することができました。本当に、ありがとうございました。

結局、新人5名と4期のベテラン現職が涙を吞みましたが、落選したのはすべて60歳以上で、平均年齢で見ると、59歳⇒53歳と大きく世代交代した感じでした。また、ウディタウンから8名の立候補と乱立気味だったことや投票率53.32%の過去最低を記録したことを考えると、議会に対する信頼や意識の低下を否定できません。議員定数削減を訴えながらも、今回選挙には間に合いませんでしたが、これからも、三田市の為に何が必要か自ら考えられる議会になるよう、議会を引っ張っていくつもりで頑張ります。

私は、頂いた一票一票の重みを感じながら、積極的な情報発信と皆様の声を市政に届けるための対話を続けて参る所存です。皆様の変わらぬご支援・ご厚情を、よろしく願いいたします。

喜びのバンザイ！



菱和会館にて 9/28

議会改革活動を精力的に進め、市政のチェックや後援会活動とあわせて、力強く邁進しており、まだまだ未熟ではございますが、精一杯頑張っております。

『びとう和広』は、これからも、後援会の皆様にも少しでもお会いができるよう、また、より多く皆様の声をお聞きし、問題解決に向け、全力で活動する所存でございます。何卒、皆様の倍旧のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

びとう和広後援会 会長：長谷川 満敏

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730
<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp
<ホームページ> <http://www.bitokazuhiro.com>